

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時： 令和5年6月1日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 深層学習（ディープラーニング）技術を利用したナスカ研究の成果が国際学術雑誌「Journal of Archaeological Science」に掲載されました
2. “ 山形大学シードル 2023 ” 完成 ～高坂農場産リンゴ使用、7月3日より販売開始～
3. 日本の食育を山形から世界に発信 附属学校・園の優れた実践を映像で紹介
4. 暑すぎると別れる 高分子のあらたな自己組織化構造転移を発見
5. YU★STEAM 自由研究の進め方講座開催！
～夏休み企画！皆さんの声にお応えイベント！～
6. 生成系 AI は脅威なのか？卒業生が語る生成系 AI の今後
～第11回 YU-SDGs カフェを開催します～



お知らせ

1. 山形大学オープンキャンパス 2023 の開催について
2. 令和5年度インテグリス STEM 奨学金奨学生証書授与式の開催について

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和5年7月6日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（6月1日）発表

1. 深層学習（ディープラーニング）技術を利用したナスカ研究の成果が国際学術雑誌

「Journal of Archaeological Science」に掲載されました

山形大学学術研究院教授（人文社会科学部担当）

さかい まさと
坂井 正人

日本 IBM テクノロジー事業本部シニア・テクニカルスペシャリスト

はやし まさお
林 正生

日本 IBM テクノロジー事業本部テクニカルスペシャリスト

らい いる
頼 伊汝

2. “山形大学シードル 2023” 完成 ～高坂農場産リンゴ使用、7月3日より販売開始～

農学部附属やまがたフィールド科学センター 技術専門職員

さく ま たくや
佐久間 拓也

山形大学生協農学部購買書籍店店長

おじま ゆうや
小島 憂也

奥羽自慢株式会社 製造責任者

あべ りゅうや
阿部 龍弥

地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創成コース3年

はやみず きょうか
早水 京華

3. 日本の食育を山形から世界に発信 附属学校・園の優れた実践を映像で紹介

学術研究院 教授（地域教育文化学部担当）

おおもり かつら
大森 桂

附属小学校 栄養教諭

かとう さちか
加藤 紗愛

附属幼稚園 養護教諭

おくやま ひろみ
奥山 広美

4. 暑すぎると別れる 高分子のあらたな自己組織化構造転移を発見

大学院理工学研究科博士前期課程（理学系）2年

きくち まお
菊地 真魚

大学院理工学研究科博士後期課程（理学系）1年

おおけ みずき
大毛 瑞貴

学術研究院教授（理学部担当）

まつい じゅん
松井 淳

5. YU★STEAM 自由研究の進め方講座開催！

～夏休み企画！皆さんの声にお応えイベント！～



地域共創 STEAM 教育推進センタープロジェクト教員

あだち あかね
安達 茜

6. 生成系 AI は脅威なのか？卒業生が語る生成系 AI の今後

～第11回 YU-SDGs カフェを開催します～



学術研究院 助教（大学院理工学研究科 主担当）

はらだ ともちか
原田 知親

Vitalify Asia Co., Ltd.

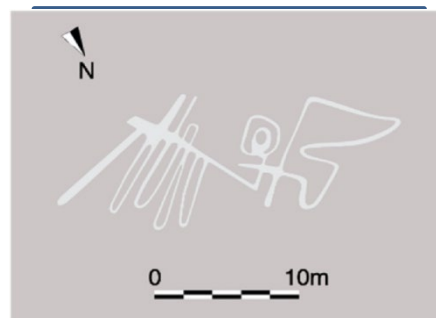
にへい ともたか
二瓶 友岳

令和5年（2023年）6月1日

深層学習（ディープラーニング）技術を利用したナスカ研究の成果が国際学術雑誌「Journal of Archaeological Science」に掲載されました

【本件のポイント】

- AI（人工知能）の深層学習技術を利用したナスカ研究の成果が、国際学術雑誌「Journal of Archaeological Science」に掲載
- 地上絵の分布調査に利用された深層学習技術の詳細を公表
- 実証実験を通して4つの新地上絵の特定につながった（内1点は2019年に公表済み）。
- 地上絵の学術研究と保護活動に向けて、研究の加速に期待



【概要】

山形大学ナスカ研究所と日本アイ・ビー・エム株式会社（以下、日本 IBM）の研究成果が国際学術雑誌「Journal of Archaeological Science」(*1)に掲載されました。論文のタイトルは、“Accelerating the discovery of new Nasca geoglyphs using deep learning”(*2)です。この論文は、2019年11月に発表した共同での実証実験の技術的な仕組みと、その後の現地調査を含む研究の成果をまとめたものです。ナスカ台地北部において実施した実証実験にもとづいて、具象的な地上絵の分布調査に利用したAIの深層学習技術の詳細を示しました。また深層学習技術によって、肉眼よりも約21倍速く地上絵の候補を特定できるようになりました。この論文ではAIで発見された地上絵4点（人型、脚、魚、鳥）を紹介していますが、そのうち1点（人型）は2019年に公開したものです。

*1) <https://www.sciencedirect.com/journal/journal-of-archaeological-science>

*2) この論文はオープンアクセスです。Science Direct（Elsevier 社）から無料でダウンロードできます。
<https://doi.org/10.1016/j.jas.2023.105777>

【背景】

山形大学ナスカ研究所と日本 IBM は、深層学習による物体検出手法を用いることで、高解像度の航空写真から具象的な地上絵を発見するための実証実験を実施しました。航空写真は広範囲に渡るため、肉眼で写真から新たな地上絵の調査候補を見つける従来の方法では膨大な年月が必要となり、効率性が課題でした。この課題を深層学習によって克服するために実証実験をおこないました。実証実験の対象地域は、線タイプの具象的な地上絵が集中的に分布しているナスカ台地北部としました。正解が不明な未確認の地上絵候補を検出するという要件のため、深層学習において必要なトレーニング・データの質と量について検討と工夫が必要でした。

【研究手法・研究成果】

既知の地上絵の絵柄は、それぞれが唯一無二であるとともに、複雑です。そこで新たな地上絵は、既存のものと同じ絵柄ではないと考えられます。深層学習による物体検出モデルは、トレーニング・データに存在しない特徴を必ずしも見つけることができないので、既知の地上絵をそのままトレーニング・データとして利用して新しい地上絵を見つけることは困難です。そこで、既知の地上絵の絵柄の細部を検討して、比較的単純な図像要素にもとづいて地上絵を分割し、それをトレーニング・データとして用いて、物体検出モデルを作成しました。これらの図像要素と類似したものが新しい地上絵にも存在するという仮説を立て、地上絵全体をとらえるのではなく、これらの図像要素をとらえるという課題に置き換えることで、新しい地上絵の検出の汎化性能（＝未知のデータに対して発揮できる能力）を高めることを目指しました。

加えて、既知の線タイプの具象的な地上絵のサイズが約10～300mと多様である点も、地上絵を検出する上での課題でした。そこで、元の画像から複数のスケールでまず画像を切り出し、次に切り出した画像を同じサイズに

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

揃えるという処理を、物体検出モデルを学習する際と物体を検出する際にそれぞれ実施することで、異なる大きさの地上絵を検出することを試みました。

さらに、今回の実証実験でトレーニング・データとして使用できた対象が、ナスカ台地北部に分布する 21 点の線タイプの地上絵のみである点も課題でした。深層学習では、理想的には数千点以上のトレーニング・データを用いることが望ましいため、これらの地上絵をそのままトレーニング・データとして用いた場合、深層学習に必要なトレーニング・データの数が不足することになります。この点については、前述したように、比較的単純な図像要素に地上絵を分割するとともに、異なるスケールで画像を切り出すという作業を通じて、トレーニング・データを 307 点まで増やすことで対応できました。

こうした対策を講じて作成された物体検出モデルを用いて、航空写真から地上絵を検出することを試みたところ、深層学習には利用しないで秘匿していた既知の複数の地上絵から、トレーニング・データとして用いた図像要素が検出されたことが確認できました。つまり我々の手法が有効であることになります。そこで、改めて検出結果を精査して新たな地上絵の調査候補をリストアップし、その後の現地調査に活用しました。結果、ナスカ台地北部から 4 つの地上絵が発見されました。それは人型、脚、魚、鳥の地上絵です。このうち、人型の地上絵 (5m) は 2019 年 11 月に公表したものです。一方、脚 (78m)、魚 (19m)、鳥 (17m) の地上絵は、2022 年までに同定された地上絵 358 点に含まれていますが、その写真と図版を学術論文として公表するのは今回がはじめてとなります。

また深層学習技術を用いることで、肉眼で航空写真から地上絵を探すよりも、約 21 倍速く地上絵の候補を特定できるようになりました。

【今後の展望】

この実証実験の成果を受けて、ナスカ台地全体を対象として、AI を利用した地上絵の分布調査を IBM ワトソン研究所と取り組んでいます。またペルー文化省と連携して、AI で発見した地上絵を保護するための活動を展開する予定です。

※用語解説

1. 深層学習

深層学習は、人間の神経細胞にも模されるニューラルネットワークなどの数学モデルを利用し、コンピューターが大量のデータからその特徴を自動的に学習して認識モデルを作成する機械学習の手法です。画像認識や音声、自然言語処理などのタスクで高い性能を示しています。多くのデータを利用する学習や認識処理のためには、高速で効率的な計算基盤が必要となるため、この実証実験においてはそうした計算処理にも適した IBM Power サーバーを利用しました。

2. 深層学習による物体検出

深層学習による物体検出は、画像から特定の物体を自動的に識別し、その位置を特定する技術です。人間が「犬」や「猫」などを見て認識する場合に用いられる技術と似ていますが、ここではコンピューターがおこないます。深層学習のアルゴリズムは大量の画像データを学習し、物体の形状や特徴を把握します。そしてこの学習にもとづいて、新しい画像に出現する物体を正確に検出する能力を獲得します。

3. トレーニング・データ

物体検出のトレーニング・データは、物体の位置とその種類（例えば、犬や猫）が事前にラベル付けされた大量の画像集です。

お問い合わせ

(研究について)

山形大学学術研究院教授 坂井正人 (文化人類学・アンデス考古学) / 人文社会科学部
TEL 023-628-4470 メール sakai@human.kj.yamagata-u.ac.jp

(広報担当)

山形大学 総務部総務課秘書広報室
〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12
TEL 023-628-4008 メール yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

日本アイ・ビー・エム株式会社 広報 (担当：須山)

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21
TEL 03-3808-5120 メール suya@jp.ibm.com

PRESS RELEASE

令和5年（2023年）6月1日

“ 山形大学シードル 2023 ” 完成 ～高坂農場産リンゴ使用、7月3日より販売開始～



【本件のポイント】

- 農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で生産しているリンゴを原料に使用した山形大学シードルが完成した。
- リンゴの着色管理過程に必要な「葉摘み」等の作業や、シードルの甘さを決める過程、商品のラベルデザイン作成に学生が参加している。
- 姉妹品の「純米大吟醸燦樹」とあわせ、売上の一部を学生への支援に活用する。

【概要】

2021年の霜害及び雹（ひょう）害により多く生じてしまった、いわゆる「加工用」のリンゴを、生協店舗でリンゴジュースとして販売したところ大好評のうちに完売しました。

異常気象が増えている現状を踏まえ、今後も継続的にこのリンゴを利用して何かできないかと高坂農場と山形大学生協で打ち合わせを重ねてまいりました。

そして今回、過去にシードル用リンゴを出荷していたことがあり、また、オリジナル日本酒・純米大吟醸燦樹の製造で協業していた奥羽自慢株式会社が醸造元となり、オリジナルシードルとして販売が決定いたしました。

【山形大学シードル 2023】

醸造本数：合計約850本

価 格：375ml 瓶入り1本1,250円(税込)

小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生協の店舗のほか、同組合のホームページからも通信販売にて購入することができます。[\(https://www.yamagata.u-coop.or.jp/\)](https://www.yamagata.u-coop.or.jp/)

原 料：リンゴは、高坂農場産リンゴ100%使用（ふじ、紅玉、王林）

醸 造 元：HOCCA WINERY（奥羽自慢株式会社 山形県鶴岡市上山添神明前123）

【学生の関わるオリジナル商品づくり】

リンゴの着色管理のための葉摘み・玉回しを生協学生委員会 OH,ONE!?(オーワン)が一部行ったほか、栽培には高坂農場に出入りする農学部学生が関わっています。

シードルの甘さは、学生でも一般の方でも飲みやすいようなものを設定するため、生協学生委員会 OH,ONE!?(オーワン)が実際に試飲し意見を出しました。

ラベルデザインは、具志堅裕介講師（地域教育文化学部主担当）協力のもと、地域教育文化学科文化創成コース3年早水京華さんに書いてもらいました。主に農学部の学生の投票で上位だったものを決定いたしました。

【売り上げの一部は学生の支援に】

今年は、約850本（約106万円）の販売が予定されており、完売した場合には、約10万円が「山形大学基金」等に寄附され、学生への支援として活用されます。

お問い合わせ（購入はホームページから）

山形大学生生活協同組合 小白川コンビニ店 Ciel

TEL：023-641-8662 メール：ymgt.hcv@univ.coop

山形大学シードル 2023

山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター

奥羽自慢株式会社

山形大学生生活協同組合



本件のポイント

- 農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で生産しているリンゴを原料に使用した山形大学シードルが完成しました。
- リンゴの着色管理過程で必要な「葉摘み」等の作業や、シードルの甘さを決める過程、商品のラベルデザイン作成に学生が参加している。
- 姉妹品の「純米大吟醸燦樹」とあわせ、売上の一部を学生への支援に活用する。

山形大学シードルとは？

- “シードル”とは、
リンゴをまるごと絞った果汁を原料とした醸造酒のこと。
- 高坂農場職員、山大オリジナル日本酒燦樹の酒蔵・奥羽自慢、山大生協で打ち合わせを重ね、2022年秋・高坂農場産の数種類のリンゴをミックス使用したシードルとなりました。
- ミックスしたリンゴ：ふじ・紅玉・王林
- 発売日：7月3日（月）
- 価格：税込1,250円
- ラベル製作：地域教育文化学部・文化創成コース学生
- 鶴岡キャンパスのほか、農場・生協関係者各所に聞いて人気だったデザインを採用しました。



2022年9月高坂農場での葉摘みの様子
※葉摘み…果実全体がまんべんなく着色するよう
果実に密着したり影を作ったりしている葉を摘む作業

デザインについて

- 地域教育文化学部
具志堅裕介講師に協力依頼し、
文化創生コース3年
早水京華さんに作成を依頼。
- 2月～3月で製作し、4月～5月で
各所に意見を求めながら
ブラッシュアップを重ねた。



令和5年（2023年）6月1日

日本の食育を山形から世界に発信

附属学校・園の優れた実践を映像で紹介

【本件のポイント】

- 学校給食発祥の地と言われる山形から、日本の学校給食の特徴を分かりやすく紹介する動画を、地域の農業関係者や附属小学校と連携して制作。今月より、山形大学公式YouTubeチャンネルで一般公開します (<https://www.youtube.com/@YamagataUniversity/videos>)。第1弾の基礎編に続き、今回、第2弾は地産地消編、第3弾はサステナブル編として、計2本を一挙公開。
- 併せて、附属幼稚園と連携し、山形の食材をテーマに、幼児を対象に食育を実践した様子について、フードリテラシーの研究・実践に関する国際連携研究機関、FLIP (Food Literacy International Partnership) の公開Webinarにおいて、英語で解説しました。その様子は、今後、録画版が同機関の公式サイト (<https://food-literacy-research.ca/>) で配信され、国内外の研究者・教育者に広く活用されることが期待されます。
- 制作した学校給食紹介動画は日本語でも視聴可能で、県内の小学校等での食育の授業にも手軽に活用できます。また、FLIPの公開Webinarで日本の食育の特徴について英語で解説した動画は、今後、本学の教員志望の大学生を対象としたグローバル教育等においても活用する予定です。



【概要】

（経緯）学校給食紹介動画第1弾は、日本のような公式な学校給食制度のないカナダの大学研究者から依頼を受けて制作・配信し、本記者会見で紹介（令和4年5月12日）。国内の方からも、動画を見て、日本の学校給食の魅力を再発見したとの反響があった。山形の学校給食の魅力は第1弾に収まり切れず、今回、第2弾・第3弾を独自に制作。国内外を問わず、多くの皆様に、研究・教育や政策決定等のためにご利用頂けるよう本学の公式YouTubeチャンネルにおいて無料配信する。

（具体的な内容）今回新たに制作した2編の学校給食紹介動画は、附属小学校での追加取材の他、JA山形市、地元の農家・加工食品企業の方にも取材にご協力頂いた。附属幼稚園での食育の実践については、5月18日にFLIPの公開Webinarにおいて、昨年12月に国際栄養学会で発表した調査結果をまじえながら具体的に紹介。ラ・フランスや枝豆等、地域の食材を園児が五感を使って味わうことの効果について、国内外の研究者や学生等に向けて英語で解説した。食育の前後で比較した結果、園児は食材の特徴をより詳細に捉えることが出来ていたり、栄養に関する知識も向上していたこと等を紹介した。Webinarではさらに、山形が日本の学校給食発祥の地であること、地産地消と連携した食育に対する県の補助事業があることなど、山形県の食育の特徴について英語で解説した。

（今後の展望）学校給食の紹介動画は、日本語でも視聴可能で、学校給食における地産地消やサステナブルな取り組みを手軽に学習できる食育教材としての活用が期待でき、今後、附属小学校でも教育実践を計画する予定。FLIPの公開Webinarにおいて英語で解説した日本および山形の食育の特徴については、特に栄養や健康に関する教育を専門とする海外の研究者への情報提供になるだけでなく、本学のグローバル教育の一環として、教員志望の学生を対象とした授業や食文化の授業等で活用する予定。

お問い合わせ

学術研究院教授（地域教育文化学部主担当）大森桂

TEL 023-628-4353

メール omorik@e.yamagata-u.ac.jp

令和5年（2023年）6月1日

暑すぎると別れる 高分子のあらたな自己組織化構造転移を発見

【本件のポイント】

- 生体膜と同様なラメラ構造^{*1}を示す高分子膜^{*2}を単純な共重合体で形成できることを見いだした。
- ラメラ構造における分子の配向が熱により転移することを発見
- ラメラ構造が形成するナノスケールの周期構造に基づく、高分子電解質、レジスト材料への応用可能。

【概要】

山形大学松井淳教授らの研究グループでは、共重合高分子を熱処理すると高分子鎖内での相分離により生体膜に見られるラメラ構造が形成されることを見いだしており、燃料電池用の固体高分子電解質や水・気体分離膜への応用を進めております。（令和3年5月6日プレスリリース）

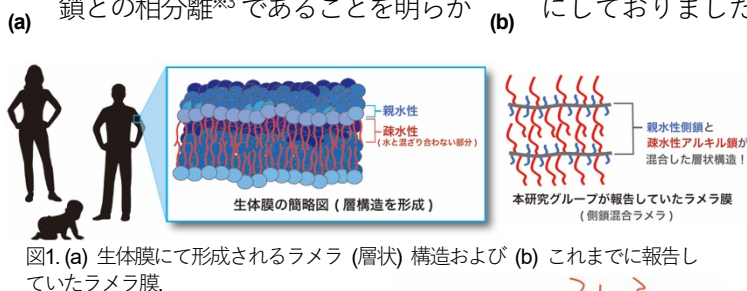
本成果では共重合体が形成するラメラ構造において、分子スケールの配向が温度により転移することを発見しました。

本成果は、英国化学会の雑誌である Soft Matter 誌のオンライン版に 2023 年 3 月 28 日に掲載されたとともに、2023 年 17 号の Front Cover に選出され掲載されました。

【背景・研究成果】

これまで研究グループでは、接着剤にも使用されるアルキルアクリルアミド系やアルキルアクリレート系の汎用高分子材料に水に馴染む分子を共重合^{*3}により導入すると、高度に配向したラメラ構造が自己組織的に形成されることを見いだしておりました（令和3年5月6日プレスリリース）。さらに、その形成メカニズムとして、疎水性のアルキル側鎖と親水性の側鎖との相分離^{*3}であることを明らかにしておりました。

ラメラ構造は分子が層状になり集積した膜であり生体膜にも見られます。生体膜においては疎水性部位と親水性部位が各々集まって層を形成しています（図1a）。一方で、これまで研究グループが報告していたラメラ膜では疎水性のアルキル鎖と親水性の側鎖が混合して存在する“側鎖混合ラメラ”を形成していました（図1b）。



今回、研究グループでは、ラメラ膜を形成させるときのアニール温度を上昇させる事で“側鎖混合ラメラ”から疎水性側鎖と親水性側鎖が分離した“側鎖分離ラメラ”へと転移することを見いだしました（図2）。これは2種類のモノマーが“ランダム”に配列した共重合体における構造転移の発見は研究グループ独自のものです。

構造転移により得られるラメラ構造が形成するナノ周期構造を利用した、高速プロトン伝導材料やレジスト材料への応用が期待できます。

※用語解説

1. ラメラ構造：玉ねぎの皮のように層状に重なった構造。生体膜では分子レベルの厚さが2層重なったラメラ構造を形成している。
2. 高分子膜：サランラップのようなプラスチックでできた膜のこと。
3. 2種類の化合物を反応させて高分子を作ること

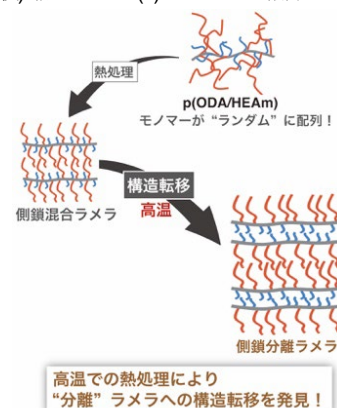


図2. 研究グループが見出した構造転移現象。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

4. 相分離（力）：水と油のように混じり合わない（合いたくない）状態のこと。

【論文情報】 M. Kikuchi, N. Saito, M. Ohke, S. Nagano, S. Nishitsuji, J. Matsui.

【論文題名】 Order–order transitions in poly(N-octadecyl acrylamide-co-hydroxyethyl acrylamide) statistical copolymer films

【掲載論文】 *Soft Matter*

【DOI】 10.1039/D3SM00265A

お問い合わせ

山形大学理学部 教授 松井 淳

TEL: 023-628-4769 メール: jun_m@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

令和5年（2023年）6月1日

YU★STEAM 自由研究の進め方講座開催！

～夏休み企画！皆さんの声にお応えイベント！～

【本件のポイント】

- 皆様から「夏休みの自由研究」についての講座を開いて欲しい！との声が多くございましたので、「YU★STEAM！自由研究の進め方講座！」を開講することになりました。
- 「夏休みの自由研究」に関しては、お子様だけでなく保護者の方々も含めて毎年「悩みのタネ」になっていることから、「自由研究＝楽しい！」と思ってもらえるような講座を考えています！
- 大学での研究活動を踏まえて、研究の大事なポイントが小学生でもわかるように、「体験」を通して「自由研究」を楽しく学べるようなイベントになっています！
- 開催日は、夏休みが始まった最初の平日です。お仕事をされている保護者の方も参加できるように、様々な日にち・時間帯を設け、少しでも多くの方々が参加できるようにしました。
- 内容は、自由研究の進め方はもちろんのこと、テーマの探し方、研究の進め方やまとめ方まで、一連の流れを紹介します。
- 「個別相談」も承りますので、保護者の方が気になることなどもご相談頂けます。ぜひ親子でのご参加をお待ちしております！
- 日程：7月25日（火）17:00～18:30、7月26日（水）17:00～18:30
8月1日（火）10:00～11:30、13:00～14:30、15:30～17:00
- 講師：安達 茜（YU★STEAM）
- 対象：小学校3～6年生（各回先着20名）
- 料金：500円（小学生1人あたり）
- 募集は定員になり次第受付を終了します。チラシに記載のQRコードもしくは公式HP（<https://yu-steam.com/>）より応募できます。

【概要】

小学校3年生～6年生を対象とした「夏休みの自由研究」の進め方についての講座を開催します。今回は、夏休み中の平日に様々な時間帯で開催しますので、ご都合の良い日時で参加することが可能です。事前予約制で、先着20名となっております。公式HPから応募を受け付けておりますので、一度公式HPを覗いてみてください。「こんなのあったらな」という保護者の方のお声をお聞きし考えたプログラムです。「夏休みの自由研究」に特化したプログラムはなかなかないと思いますので、ぜひ親子揃って参加してみてください！楽しく夏休みの自由研究を進めることで、最高の夏休みにしましょう！

※用語解説

1. スチーム（STEAM）：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の頭文字を取った教育概念。STEAM分野を統合的に学び、実社会での問題発見・課題解決に活かしていくための分野横断的な教育です。



お問い合わせ：山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター
TEL：023-628-4506（SCITA センター内）
メール yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



公式キャラクター
虹のフック



夏休み企画！
皆さんの声にお応えイベント！

＼YU★STEAM／

自由研究の 進め方講座！

- ✓ 夏休みの自由研究の進め方を伝授します！
- ✓ 体験を通して『自由研究』が学べます！
- ✓ 講座後に個別の相談も承ります！
- ✓ 親子で参加可能です！

お好きな日時で
ご予約ください！

7月25日(火)
17:00~18:30

8月1日(火)
10:00~11:30

8月1日(火)
15:30~17:00

7月26日(水)
17:00~18:30

8月1日(火)
13:00~14:30

申込はこちらから！

講師：安達 茜 (YU★STEAM)
対象：小学校3~6年生 (各回先着20名)
場所：山形大学SCITAセンター
料金：500円 (小学生1人あたり)



定員になり次第受付終了します。駐車場はございません。近くのコインパーキングをご利用ください。

山形大学地域共創STEAM教育推進センター (YU★STEAM)

TEL: 023-628-4506 (平日9時~17時)

mail: yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

HP: <https://yu-steam.com/>

＼夏休み企画！皆さんの声にお応えイベント！／

YU★STEAM！自由研究の進め方講座！



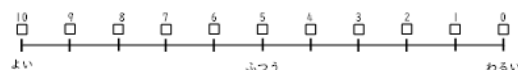
YU★STEAM！自由研究の進め方講座！



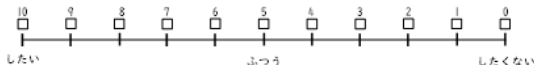
＼YU★STEAM／やまだいキッズラボ 2023
「動く模様を使って新種の動物図鑑作り」アンケート

【実施理由】 “保護者様”からの声！

⑤ イベントの満足度はどれくらいですか？



⑥ あなたはどれくらい友達にこのイベントを紹介したいですか？



⑦ 山形大学にどんなイベントをしてほしいですか？

(←)

⑧ 将来の夢や目標はなんですか？

(←)

⑨ 今日の感想や、先生へのメッセージを自由に書いてね！

Free text area for responses.

(参考) やまだいキッズラボアンケート

【保護者様の声（一部）】

- 夏休みの課題について聞いて欲しいです
- 夏休みの自由研究が・・・
- 自由研究のテーマが決まらないです
- 自由研究の進め方が毎年・・・
- 自由研究ってみんなどうやってる？



YU★STEAM！自由研究の進め方講座！



「自由研究＝楽しい！」に！

<内容>

- 夏休みの自由研究の**進め方**を伝授します！
- **体験を通して**「自由研究」が学べます！
- 講座後に**個別の相談**も承ります！
- **親子**で参加可能です！

公式キャラクター
虹のツッパ

夏休み企画！
皆さんの声にお応えイベント！

YU★STEAM/
**自由研究の
進め方講座！**

- ✓ 夏休みの自由研究の進め方を伝授します！
- ✓ 体験を通して『自由研究』が学べます！
- ✓ 講座後に個別の相談も承ります！
- ✓ 親子で参加可能です！

お好きな日時で
ご予約ください！

日時	時間
7月25日(火)	17:00~18:30
7月26日(水)	17:00~18:30
8月1日(火)	10:00~11:30
8月1日(火)	13:00~14:30
8月1日(火)	15:30~17:00

申込はこちらから！

講師：安達 茜 (YU★STEAM)
対象：小学校3~6年生 (各回先着20名)
場所：山形大学SCITAセンター
料金：500円 (小学生1人あたり)

定員になり次第受付終了します。駐車場はございません。近くのコインパーキングをご利用ください。
山形大学地域共創STEAM教育推進センター (YU★STEAM)
TEL: 023-628-4506 (平日9時~17時) mail: yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp HP: <https://yu-steam.com/>

YU★STEAM！自由研究の進め方講座！



夏休みの平日に様々な時間帯で開催！

< 日程 >

合計5回開催！（3日間）

■ 7月25日（火） 17:00～18:30

■ 7月26日（水） 17:00～18:30

■ 8月1日（火） 10:00～11:30

13:00～14:30

15:30～17:00

夏休み企画！
皆さんの声にお応えイベント！

公式キャラクター
虹のツッパ

YU★STEAM/
自由研究の
進め方講座！

- ✓ 夏休みの自由研究の進め方を伝授します！
- ✓ 体験を通して『自由研究』が学べます！
- ✓ 講座後に個別の相談も承ります！
- ✓ 親子で参加可能です！

お好きな日時で
ご予約ください！

日時	時間
7月25日(火)	17:00～18:30
7月26日(水)	17:00～18:30
8月1日(火)	10:00～11:30
8月1日(火)	13:00～14:30
8月1日(火)	15:30～17:00

申込はこちらから！

講師：安達 茜（YU★STEAM）
対象：小学校3～6年生（各回先着20名）
場所：山形大学SCITAセンター
料金：500円（小学生1人あたり）

定員になり次第受付終了します。駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。
山形大学地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）
TEL: 023-628-4506（平日9時～17時） mail: yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp HP: <https://yu-steam.com/>

YU★STEAM！自由研究の進め方講座！



申込は公式HPから！

<内容>

- 講師：安達茜（YU★STEAM）
- 対象：小学校3～6年生（各回先着20名）
- 場所：山形大学SCITAセンター
- 料金：500円（小学生1人あたり）

公式キャラクター
虹のツッパ

夏休み企画！
皆さんの声にお応えイベント！

＼YU★STEAM／
**自由研究の
進め方講座！**

- ✓ 夏休みの自由研究の進め方を伝授します！
- ✓ 体験を通して『自由研究』が学べます！
- ✓ 講座後に個別の相談も承ります！
- ✓ 親子で参加可能です！

お好きな日時で
ご予約ください！

日時	時間
7月25日(火)	17:00～18:30
7月26日(水)	17:00～18:30
8月1日(火)	10:00～11:30
8月1日(火)	13:00～14:30
8月1日(火)	15:30～17:00

申込はこちらから！

講師：安達 茜（YU★STEAM）
対象：小学校3～6年生（各回先着20名）
場所：山形大学SCITAセンター
料金：500円（小学生1人あたり）

定員になり次第受付終了します。駐車場はございません。近くのコインパーキングをご利用ください。
山形大学地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）
TEL: 023-628-4506（平日9時～17時） mail: yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp HP: <https://yu-steam.com/>



楽しく夏休みの自由研究を進めて
最高の夏休みにしましょう！



令和5年（2023年）6月1日

生成系AIは脅威なのか？卒業生が語る生成系AIの今後

～第11回YU-SDGsカフェを開催します～

【本件のポイント】

- 今回のテーマは、ChatGPTなどの生成系AIについて。対象は生成系AIに関心のある方で、6月22日（木）16:30-17:30にオンライン形式で開催します（参加無料）。
- 当日は、海外で生成系AI関連の企業に勤めている本学卒業生から、生成系AIの現状や今後について講話いただきます。
- 「生成系AIは脅威なのか？」そんな生成系AIについて正しく理解し、上手に活用するためのきっかけとなる企画です。皆さま、ぜひご参加ください。



【概要】

「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」の3つを使命とする山形大学では、これまでもSDGsに関わる個別の教育・研究・地域貢献を実施してまいりましたが、2020年から“empower!”（エンパワー：力づける、力を与える）のコンセプトを基に、全学を挙げてその取組みを加速させています。その活動の一環として、SDGsに関心のある教員・学生だけでなく一般の皆さんがオンライン上で学び・交流する「YU-SDGs カフェ」を実施しています。

11回目となる今回は、本学学術研究院（大学院理工学研究科 主担当）の原田知親（はらだ ともちか）助教をファシリテーターとして、生成系AIをテーマに開催します。

当日は、2022年3月に本学工学部を卒業し、現在はベトナムにある Vitalify Asia Co., Ltd. で生成系AIに関する業務を担っている二瓶友岳（にへい ともたか）さんから、生成系AIの基礎や利活用の現状について講話いただきます。

生成系AIは人が生み出した新たなツールですが、大きな可能性と脅威を内包していることから、様々な観点から活発に議論されています。『生成系AI』を正しく理解し上手に活用するためのきっかけとなるような内容となっておりますので、関心がある方は、是非、ご参加ください。

【開催日時】

日時：2023年6月22日（木）16:30-17:30

対象：生成系AIに関心のある方

申込：https://forms.office.com/r/7kcAAufu9F

問合先：(Tel)023-628-4615 (E-mail)yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※参加費無料。視聴用URL（zoom）は、開催日当日12:00までに送付。

※講師プロフィール等の詳細は別紙をご覧ください。

【参加申込用QRコード】



（参考）教育における生成系AIの利用について

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/important/0418/>

お問い合わせ

国立大学法人山形大学 SDGs 推進室 長沼、岡崎

TEL:023-628-4615

E-Mail:yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



The 11th SDGs Cafe

卒業生が語る生成系AIの今後 ～生成系AIは脅威なのか？ ビジネスの視点から考える～

社会的に関心が高まっている『生成系AI』…

『生成系AI』は人が生み出した新たなツールですが、
大きな可能性と脅威を内包していることから、
様々な観点から活発に議論されています。

そんな『生成系AI』について山形大学卒業生が解説！！
正しく理解し上手に活用するためのきっかけとなる企画です！

関心がある方は、是非ご参加ください♡

日 時：2023年6月22日（木）16:30-17:30

対 象：生成系AIに関心のある方

申 込：<https://forms.office.com/r/7kcAAufu9F>

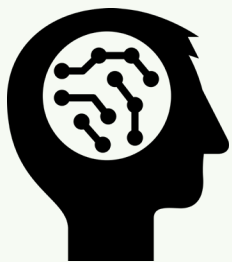
問合せ：(Tel)023-628-4615

(E-mail)yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



※参加費無料。視聴用URLは、開催日前日までに送付。

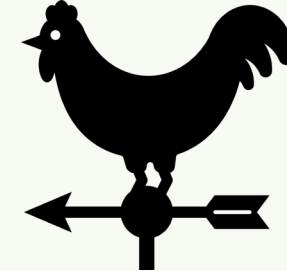
【主催：山形大学SDGs推進室 協力：Vitalify Asia Co., Ltd.】



【当日のアジェンダ】

1. 開会のあいさつ
3. 意見交換会

2. 生成系AIの概要
4. 閉会のあいさつ



【ファシリテーター】



二瓶 友岳 (Nihei Tomotaka)

【出演者プロフィール】

東京都出身。

2022年山形大学工学部卒業【学士（工学）】。

山形大学ナセバース認定研究拠点 創設メンバー。

Vitalify Asia Co., Ltd. 所属（ベトナム）。

社内外にてChatGPTについてのセミナー実施やChatGPTに関連したシステム開発の問い合わせに対応している。

在学時は、1.後悔しない大学生活を送る 2.山形で活躍する 3.人生を開拓する を目標に、興味を広げ複数の興味を同時に深堀りし、中でも特にやってみたいことを全部試す中で、様々な取り組みを企画立案、実践。その経験を活かし現在は海外で活躍中。

原田 知親 (Harada Tomochika)

国立大学法人山形大学学術研究院 助教（大学院理工学研究科 主担当）

専門は、極低電力知能情報処理集積回路、IoT/ICTデバイス・システム。
研究の傍ら、自身の研究連携での苦労した経験や学部1年生からの研究開発・社会実装参加の重要性から、山形大学ナセバース認定研究拠点の共同代表者として学生・教員・企業研究者と連携して活動中。

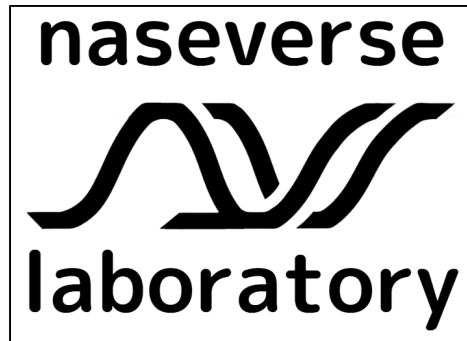


(参考)

山形大学ナセバース認定研究拠点

2022年6月発足

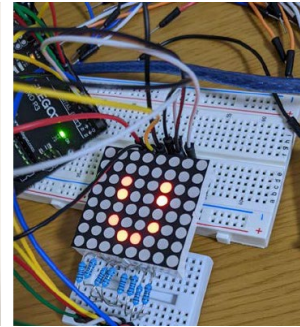
- ・ なせば成る
+
・ メタバース
= **ナセバース**



認定研究拠点ロゴ



上杉鷹山



学年・身分・学部学科の垣根を越えた学生・教員・研究者が結集し、地域コミュニケーション支援システムの実現を目指し、日々研究開発と社会実装への応用に取り組んでいる研究拠点。現在、複数のグループに分かれてソフトウェア／ハードウェア双方からの試作開発が進行中。山形大学内でのオープンキャンパスやMaker Fair開催や、Maker Fair Tokyoへの出展なども計画中。



令和5年(2023年)6月1日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 山形大学オープンキャンパス 2023 の開催について

- 2023年度のオープンキャンパスは、全キャンパス対面で開催することを予定しています。全キャンパスが対面で開催するのは、2019年度以来、4年ぶりです。
- イベントは、事前申込制により実施します。
- 各キャンパスにおいて、キャンパス最寄り駅等からの無料シャトルバスの運行を予定しています。

【山形大学オープンキャンパス 2023】

●開催日・キャンパス

人文社会科学部	7月29日(土)	小白川キャンパス
地域教育文化学部	7月29日(土)	小白川キャンパス
理学部	7月29日(土)	小白川キャンパス
医学部	7月29日(土)	飯田キャンパス
工学部	8月5日(土)	米沢キャンパス
農学部	7月22日(土)	鶴岡キャンパス

●詳細・申込

決まり次第、本学受験生向けナビゲーションサイト「やまがた大学ナビ!」でお知らせします。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/oc/>

「やまがた大学ナビ!」では、常時、オンデマンド配信で視聴できるコンテンツもありますので、ぜひご覧ください。

受験生のための山形大学ナビゲーションサイト

やまがた大学ナビ!

2. 令和5年度インテグリス STEM 奨学金奨学生証書授与式の開催について

このたび、標記授与式を下記のとおり開催しますので、取材及び報道方について、よろしくお願いいたします。

◆日 時：令和5年6月2日(金) 12:10～12:50

◆会 場：米沢キャンパス百周年記念会館セミナールーム

◆参加者：児玉衛一 様（日本インテグリス合同会社社長兼インテグリス・ジャパン株式会社代表取締役）

他 日本インテグリス社関係者

玉手学長、矢作理事、黒田工学部長、今野工学部副学部長、採用奨学生7名

◆内 容：奨学生証書授与

令和5年（2023年）6月1日

山形大学オープンキャンパス2023の開催について

【本件のポイント】

- 2023年度のオープンキャンパスは、全キャンパス対面で開催することを予定しています。全キャンパスが対面で開催するのは、2019年度以来、4年ぶりです。
- イベントは、事前申込制により実施します。
- 各キャンパスにおいて、キャンパス最寄り駅等からの無料シャトルバスの運行を予定しています。



【概要】

山形大学では、2023年度のオープンキャンパスを全キャンパス対面で開催することを予定しています。全キャンパスが対面で開催するのは、2019年度以来、4年ぶりです。

イベントは、事前申込制により実施予定です。

以下のとおり開催を予定していますが、時間、内容等の詳細や申込については、決まり次第、本学受験生向けナビゲーションサイト「やまがた大学ナビ！」のオープンキャンパスページでお知らせします。

過去には学部説明や模擬講義、研究室見学、キャンパスツアー、在学生との交流、保護者向け説明会等、様々な内容のイベントを実施しています。

各キャンパスにおいて、キャンパス最寄り駅等からの無料シャトルバスの運行を予定しています。

【山形大学オープンキャンパス 2023】

●開催日・キャンパス

人文社会科学部	7月29日（土）	小白川キャンパス
地域教育文化学部	7月29日（土）	小白川キャンパス
理学部	7月29日（土）	小白川キャンパス
医学部	7月29日（土）	飯田キャンパス
工学部	8月5日（土）	米沢キャンパス
農学部	7月22日（土）	鶴岡キャンパス

●詳細・申込

決まり次第、本学受験生向けナビゲーションサイト「やまがた大学ナビ！」でお知らせします。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/oc/>

受験生のための山形大学ナビゲーションサイト

やまがた大学ナビ！

「やまがた大学ナビ！」では、常時、オンデマンド配信で視聴できるコンテンツもありますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ

エンロールメント・マネジメント部入試課

TEL 023-628-4063 メール yu-enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

鶴岡
キャンパス

7.22 sat.

農学部

鶴岡キャンパス事務部
総務課 研究・社会共創室
TEL 0235-28-2909

小白川
キャンパス

7.29 sat.

人文社会科学部

小白川キャンパス事務部
人文社会科学部事務室 総務担当
TEL 023-628-4203

地域教育文化学部

小白川キャンパス事務部
地域教育文化学部事務室 総務担当
TEL 023-628-4304

理学部

小白川キャンパス事務部
理学部事務室 総務担当
TEL 023-628-4503

飯田
キャンパス

7.29 sat.

医学部

飯田キャンパス事務部
学務課 入試担当
TEL 023-628-5049

米沢
キャンパス

8.5 sat.

工学部

米沢キャンパス事務部
総務課 広報室
TEL 0238-26-3419

山形大学

OPEN 2023
CAMPUS



事前
申込制

オープンキャンパスは、
全キャンパス対面で
実施いたします。

イベントスケジュール、内容等の詳細や申込は「やまがた大学ナビ」で▶

やまがた大学ナビ!



LINE 友達募集中

オープンキャンパスに関する
最新情報もお届けします。



エンロールメント・マネジメント部入試課
〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12
Tel 023-628-4063

E-mail / yu-enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>



令和 5 年 6 月 1 日
山 形 大 学

在 山 形 報 道 機 関 各 位

山形大学総務部総務課秘書広報室

令和 5 年度インテグリス STEM 奨学金奨学生証書授与式の開催について

このたび、標記授与式を下記のとおり開催しますので、取材及び報道方について、よろしくお願いいたします。

なお、本奨学金対象者は、成績が優秀であること等に加え、経済的理由を要件としているため、氏名及び顔写真の公表を控えさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

記

- ◆ 日 時：令和 5 年 6 月 2 日（金） 12：10～12：50
- ◆ 会 場：米沢キャンパス百周年記念会館セミナールーム
- ◆ 参加者：児玉衛一 様（日本インテグリス合同会社社長兼インテグリス・ジャパン株式会社代表取締役）
他 日本インテグリス社関係者
玉手学長、矢作理事、黒田工学部長、今野工学部副学部長、
採用奨学生 7 名
- ◆ 内 容：奨学生証書授与

※「インテグリス STEM 奨学金」

学業優秀・品行方正であるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な STEM を専攻する学生で、特に女性やマイノリティグループの者に対し、日本インテグリス合同会社からご支援いただいている返済義務のない給付型奨学金制度です。

お問い合わせ

山形大学エンrollment・マネジメント部学生支援課 齋藤

TEL 023-628-4840 メール yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp